

# 鳥取県西部圏域

## 更なる連携強化による地域移行の推進 ～長期入院者のいそどりある人生を応援～

鳥取県西部圏域では・・・

平成15年度から退院促進モデル事業を開始しました。その後、推進会議（代表者会議）、連絡会（実務者会議）の開催を継続しながら、啓発教材（映像）の作成、当事者サポーター・地域移行推進ボランティアの養成、入院患者への地域移行支援説明会等、様々な取組を展開してきました。

医療機関と地域との顔の見える連携は構築されていますが、今後は更なる連携強化による一歩進んだ取組を目指していきます。

## 1 平成30年度の達成目標と現時点での進捗状況

平成30年度の達成目標	現時点での進捗状況
1. 圏域の地域移行をより推進するため、関係機関での協議の場を設置する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関協議(コアメンバー)、連絡会(実務者)、推進会議(代表者)と3つの協議の場を設置している。</li> <li>・それぞれ、予定通り開催できている。</li> </ul>
2. 退院可能入院者へ地域支援者が訪問し、入院中早期から退院に向けた支援を行う体制を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先行(試行)的取組において、訪問支援を実施している。</li> <li>・本格的な取組については、医療機関から退院可能者のリストを提出して頂いている段階であり、これから訪問を実施していく。</li> </ul>
3. 長期入院者の退院意欲を高め、地域と支援者をつなぐ場として地域交流会を開催し、参加者に対して継続支援を行う。交流会においては、地域移行推進ボランティア、ピアサポーターの活用を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年3回実施予定であり、地域移行推進ボランティア、ピアサポーターの協力を得ながら、現在1回実施済み。</li> <li>・今後、残り2回についても予定通り実施予定。</li> </ul>

2 圏域の取組における強みと課題

【特徴(強み)】

●平成15年度から退院促進モデル事業に取り組み、長年取り組みを継続する中で、地域移行を推進する基盤、顔の見える関係が構築できている。

課題	課題解決に向けた取組方針	課題・方針に対する視点別の認識(取組)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域支援者の「地域に引き出す力」の強化が不十分</li> <li>●地域移行支援の個別給付申請数が少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域支援者が早期に医療機関と連携を図れる体制づくり</li> <li>・退院可能者への地域支援者訪問</li> </ul>	行政側	体制整備
		医療側	退院可能者の選定
		事業者側	早期からの医療との連携
		関係機関・住民等	必要に応じた連携
<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域移行推進ボランティア、当事者サポーターを養成したが活用ができていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●入院患者の退院意欲の喚起及び地域支援者とのつながる機会の構築</li> <li>・長期入院者の地域交流会の開催</li> </ul>	行政側	交流会の計画と継続支援の体制づくり
		医療側	交流会への参加・継続支援
		事業者側	
		関係機関・住民等	

課題解決の達成度を測る指標	指標の設定理由	現状値	目標値(H30)
<数的データ> ①退院率(3・6・12カ月)②長期入院患者数	・今までも数的データとして目標設定してきたため。	基本情報のとおり	設定中
<質的データ> ①自立支援協議会での取組内容 ②取組から見えた退院阻害要因と対応プロセス	・数的データでは見えない質的な評価も必要であるため。	未把握・未実施	質的データとして聞き取り、まとめを行う

※指標設定が困難な場合は、代替指標や定性的な文言でも構いません。

### 3 病院（医療機関）との連携状況

- 関係機関協議（コアメンバー会議）の中に病院にも入って頂き、意見交換の中で、ニーズや課題の共有を図っている。
- 西部圏域の障がい者自立支援協議会の地域移行部会の中にも病院に入って頂き、課題を抽出し、対応策について議論している。
- 日々の個別ケース支援や支援会議等を通して、病院と連携を図っている。

## 4 現時点での課題・悩み

- 他圏域への事業の波及方法（県内及び県外）。
- 精神障がい者が退院し地域へ戻る際に、地域住民から反対されることがある。地域住民の障がい者に対する理解を促し、さらには共に活動できるようにするための方策が必要。
- 長期入院者が退院したいと思えるような、魅力的な地域交流会の実施方法（内容、回数、実施者）。
- 退院可能入院者への地域支援者訪問について、退院意欲の喚起につながるような取組の実施。
- 地域支援者のスキルアップやマンパワーの確保。